



日本骨髄バンクの現状 (2019年12月末現在)

	11月	12月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,904	3,218	527,221	818,469
患者登録者数	232	219	1,955	58,305
移植例数	117	79	—	23,947

■12月年代別ドナー登録者数(現在数)

10代 5,328人

20代 82,326人

30代 139,248人

40代 223,747人

50代 76,572人

■12月の20歳未満の登録者 353人

■12月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム/648人、献血併行型集団登録会/2,470人、集団登録会/37人、その他/63人

■12月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数：858件

■骨髄バンクを介して2回提供された方(累計数)：1,810人

■DLI[ドナーリンパ球輸注療法]の実施件数(累計数)：897件

■国際協力の現状(2019年10月～12月)

【海外ドナー⇒国内患者】移植数：1件[KMDP]、累計移植数：194件

【国内ドナー⇒海外患者】移植数：2件[いずれもKMDP]、累計提供数：282件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 2019年移植数およびコーディネート状況

2019年12月末現在の累計移植数は23,947件(うちPBSCTは858件)になりました。2019年1月～12月の移植数は1,243件(国内ドナー⇒国内患者：1,228件、海外ドナー⇒国内患者：4件、国内ドナー⇒海外患者：11件)でした。2018年の件数(合計：1,216件、国内ドナー⇒国内患者：1,208件、海外ドナー⇒国内患者3件、国内ドナー⇒海外患者5件)と比べ、総数で27件増加し、前年比102%でした。PBSCTは233件で、前年(205件)と比べて28件増加しました。

コーディネート件数は、確認検査数が5,324件(前年4,828件、前年比110%)、最終同意が1,493件(前年1,457件、前年比102%)でした。

骨髄採取のコーディネート期間について、ドナーコーディネート開始から採取までの中央値は115日で、前年の112日より3日延長しました。一方で、末梢血幹細胞採取のコーディネート期間の中央値は105日で、前年101日より4日延長しました。

ご提供いただいたドナーの方をはじめ、採取施設の担当医師、調整医師の先生方やコーディネーターの方々、その他多くの関係者のご尽力とご協力に感謝を申し上げます。

2 2019年ドナー登録者数 59,994人

2019年1月～12月の新規ドナー登録者数は59,994人でした。2018年の35,085人に比べ、24,909人の大幅増(前年比171%)となり、5年連続で前年を上回りました。

新規ドナー登録者数を大きく押し上げたのは、昨年2月著名な競泳選手の闘病報道により、骨髄バンクへの関心が全国的に高まったことが挙げられます。当法人への問い合わせやホームページの閲覧件数も伸び、多くの方が骨髄バンクを知るきっかけになったといえます。記録的な新規登録者数となった一方で、年齢超過等による登録取消者数は依然として増加傾向にあります。

ご協力いただいたドナー登録者の方々をはじめ、ドナー登録推進にご尽力いただいた説明員の方々、支えていただきました関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

今後もいっそう若年層ドナーの登録拡大を目指して進めてまいります。みなさまのさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

3 舞台「友情」、都内女子中高生対象に貸切公演

「友情～秋桜（コスモス）のバラード」は、白血病の女子中学生とクラスメイトの友情を描いた米国の実話に基づく舞台作品です。1999年11月、東京での初演から毎年上演が重ねられ、1月8日の第633回公演では、学校法人淑徳学園/淑徳SC中等部・高等部（東京都文京区）の貸切公演が行われました。同校は120年の女子教育の伝統を持つ学校で、文化交流イベントの一環でこの観劇が企画され、中学1年生から高校3年生までの生徒と先生のみなさん総勢約260名が参加しました。14歳の男女の多感な心情を描写したシーンでは会場が盛り上がり、舞台と観客が一体となる公演となりました。

4 「ドナー休暇制度」導入、494企業・団体に

働きながらドナーになる方にとって提供しやすい環境作りのため、当法人では全国の企業・団体等に向けて「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入を確認しているのは494企業・団体です（1月8日現在）。ホームページにドナー休暇制度の導入情報一覧を公開しています。

ご関心のある企業・団体へは、当法人の専門職員を派遣して導入に向けたご説明をします。これからも「ドナー休暇制度」の導入をいっそう推進してまいります。

◇HOME > 募金ご協力のお願ひ > 企業・団体による支援 > ドナー休暇制度導入企業

◇お問い合わせ先：広報渉外部・ドナー休暇制度導入担当 TEL 03-5280-8111

5 ドナー助成制度、新たに6つの市と町で導入確認

新たに6つの市と町で「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が導入されました。全国で620自治体になります。

助成制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。当法人ホームページにお問い合わせ先一覧を掲載しています。

■新たに導入が確認された自治体

- ・佐久市（長野県）
- ・加賀市、かほく市（石川県）
- ・八百津町（岐阜県）
- ・大和郡山市（奈良県）
- ・宗像市（福岡県）



6 当法人の会議等開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください（非公開除く）。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	1月17日（金）18時～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	2月2日（日）12時半～16時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 「手紙交換制度」における SNS 等への掲載防止対策を強化

日本骨髄バンクでは、移植・採取後に患者さんとドナーさんが2回までお手紙をやりとりすることができます。これまでも患者さん・ドナーさん双方の匿名性やプライバシー保護の観点から、お手紙の公開は控えていただくようお願いしてまいりました。

しかし、近年のソーシャルメディアの普及により、誰もがインターネットで情報発信可能になり、「お手紙」の画像が筆跡や内容が読み取れる形で SNS 等に掲載されたり、そのままテレビで紹介されたりするケースが相次いでいます。

このような状況から当法人では、ワーキンググループを設置して検討を重ねた結果、以下の運用を行うことといたしました。みなさまのご協力をお願い申し上げます。

患者さんからドナーさんへの手紙

2月3日 受理分の手紙より、ドナーさんから「掲載／公開しない」旨の承諾書を提出していただき、その後に患者さんの手紙をドナーさんにお渡しします。手紙をお渡しできるまで日数を要すること、また、承諾書が提出されない場合はお渡しできないことをご了承ください。

ドナーさんから患者さんへの手紙

日本骨髄バンクにおける患者登録に関する説明書／同意書に、「SNS 等に掲載／公開しない」旨を追加しました。患者登録申請時には最新版をホームページからダウンロードしてご使用ください。2月3日以降登録申請到着分については最新版のみが有効になります。すでに登録されている患者さんについては、改めて承諾書等を出していただく必要はありません。



8 HLA 検査方法を「NGS 法」に変更

患者 HLA 確認検査等が、3 月 3 日より SBT 法から **NGS 法** に変わります。詳細は当法人ホームページをご覧ください。

◆HOME > 医師の方へ > 医師宛通知文【患者主治医向け】

9 「2020 年全国調査 台帳登録提出のお願い」について <移植施設の方へ>

一般社団法人日本造血細胞移植データセンター（JDCHCT）／日本造血細胞移植学会（JSHCT）から発出された「2020 年全国調査 台帳登録提出のお願い」でご案内のとおり、「台帳登録」の提出がされていないと、原則として移植施設認定の更新がされません。

台帳登録の提出締切日は **2 月 10 日必着** です。例年より前倒しになっておりますのでご留意いただき、必ずご提出くださいますようお願いいたします。

詳細は JDCHCT ホームページをご参照ください。

<http://www.jdchct.or.jp>

10 2020 年度調整医師委嘱更新手続きについて <調整医師の方へ>

先月号でご案内のとおり、2020 年度も調整医師委嘱更新手続きが必要な先生方には 1 月中旬以降、順次更新書類を発送します。2016 年度から委嘱期間を 1 年とし、原則として委嘱期間満了の 2 カ月前までにお申し出がない限り自動更新となりましたが、院内の手続き上、更新書類が必要な場合はドナーコーディネータ部までご連絡ください。

異動等のご予定がある先生方は、同封の「調整医師異動等連絡票」をドナーコーディネータ部に FAX いただくか、地区事務局にご連絡ください。異動先でも活動可能な先生方には、後日改めて異動先での調整医師委嘱書類を送付しますので手続きをお願いします。

11 連絡事項

■各種年間データについて

今号では、「コーディネータ件数（月次データ）」の他に、「コーディネータ件数（2019 年実績）」「コーディネータ期間（2019 年実績）」を同封します。